

**令和7年度**

**柏市教育行政重点化方針**

**柏市教育委員会**



## 教育行政重点化方針の概要

『令和7年度柏市教育行政重点化方針』は、令和7年度において特に優先順位が高く、かつ先導的に実施する取組について重点事業を示したものです。変化の激しいこれからの社会において、より良い教育行政を運営するためには、中長期的な視点で計画的に教育課題解決に向けた諸施策を展開することが必要です。柏市教育委員会では、子どもの教育並びに生涯学習、文化及び図書館の各分野について、第2次柏市教育振興計画、第4次柏市生涯学習推進計画、第五次柏市芸術文化振興計画、柏市文化財保存活用地域計画及び柏市図書館のあり方において、中長期的な視点からの目指す方向性や施策を示しています。また、教育に関する事務の点検・評価を毎年度実施し、達成状況や課題、改善方策等を導き出しています。

柏市教育委員会では、各計画等の方向性及び施策並びに教育に関する事務の点検・評価の結果などを踏まえ、『令和7年度柏市教育行政重点化方針』を定めました。

# 目 次

1	令和7年度重点化方針	- 1 -
2	令和7年度施策体系別重点事業	- 7 -
I	未来につなぐ柏の教育	- 10 -
	施策体系外の重要な取組	- 10 -
	施策展開の方向1 学ぶ意欲を育成する	- 11 -
	施策展開の方向2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる	- 17 -
	施策展開の方向3 教職員の力量・学校の組織力を高める	- 25 -
	施策展開の方向4 地域・家庭とともにある学校をつくる	- 27 -
II	笑顔と元気が輪となり広がるまち柏	- 28 -
	目指す方向性	- 28 -
III	文化の薫るまちづくり	- 30 -
	施策展開の方向1 身近に感じる芸術文化と活動の推進	- 30 -
	施策展開の方向2 歴史資料・文化財の保存と活用の推進	- 31 -
IV	図書館サービスの充実	- 33 -
	施策展開の方向 学び、共有、創造を支え、「ひと」と地域を育む	- 33 -
V	その他	- 34 -
3	令和7年度柏市一般会計当初予算における教育費の概要	- 35 -

## 1 令和7年度重点化方針

令和7年度に教育委員会が重点的に取り組む事業についてまとめたものです。

### 施策体系外の重要な取組

#### (1) 柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針の推進

柏市立学校の児童生徒にとってより良い教育環境の確保と教育の質の向上を図るため、本市の学校教育における羅針盤として「未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」を令和6年度末に策定いたしました。

本基本方針では、今日の学校現場を取り巻く様々な教育課題への対応の方向性や将来を見据えた学校のあり方を示しており、「柏市の学校教育が目指す子ども像」や「目指す学校教育」の実現に向けて、各種教育施策に取り組んでいきます。

#### (2) 次期柏市教育振興計画の策定

学校教育に関する部門計画として策定している「教育振興計画」が、令和7年度をもって現在の計画期間を満了することから、次期計画の策定を進めていきます。

策定にあたっては、未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針の内容を踏まえるとともに、令和6年12月に市民、児童生徒、教職員を対象に実施したアンケート調査の結果も参考としながら、教育政策審議会において、多面的な審議のもと、具体的かつ実効性のある計画となるよう取り組んでいきます。

#### (3) 柏市立学校施設個別施設計画の改定

教育環境整備の計画となる「学校施設個別施設計画」を令和6年度からの2か年で改定します。

改定にあたっては、未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針の内容を踏まえ、昨今の財政状況や児童生徒数の推移など教育環境を取り巻く動向を捉えた施設整備方針とするとともに、計画第一期目の実施工事に関するコスト分析、今後の教育水準に求められる標準的な学校施設のあり方、さらにはカーボンニュートラルに向けた環境負荷抑制策など新たな視点も踏まえて検討を進めていきます。

#### (4) 柏中学校区義務教育学校の設置

これからの時代に求められる質の高い教育を実現するために、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を実践する義務教育学校を令和10年度に開校すべく、ソフトとハードの両面から準備を進めてきましたが、建設業における働き方改革

の影響による工事期間の延長や、現在の柏中学校の運営をとめることなく工事を安全に進めるために行うグラウンド等の先行整備の実施を踏まえ、開校までのスケジュールを見直し、令和12年4月の開校を目途に事業に取り組んでいくこととしました。

本事業では、令和6年9月に柏第一小学校、旭東小学校、柏中学校の学校運営協議会委員により構成される「地域協議会」を設置し、これまで合計14回にわたり、学校統合に関することを含め、様々な角度から大変活発に意見交換がなされており、地域での理解と合意形成に向けた丁寧な取組に努めています。

また、施設整備においても、地域協議会委員からの意見を聴取するほか、令和7年1月には、関係校の児童生徒にアンケートを実施しました。引き続き、開校までの間、学校関係者との協働のもと、教育環境の充実と教育の質の向上に向けて、児童生徒はもとより、保護者、地域、教職員等、全ての学校関係者に愛される学校づくりに努めていきます。

#### (5) 給付型奨学金事業

社会的養護のもとで育った柏の児童生徒が、生まれ育った環境によって左右されることなく学ぶ機会を得られるよう、また、将来に希望をもって自立できるよう、大学や専門学校等への進学のための支援を行うことを目的として、給付型奨学金制度を創設します。

児童養護施設等による保護を離れたかた（ケアリーバー）を対象に、国・県の制度を利用しても不足する学費や生活費を補うため、月額4万5千円を給付することで学業に専念できる環境づくりを支援します。

#### (6) 教育委員会の組織改編

放課後の新たな居場所として、こどもルームと放課後こども教室との一体的運営を目指す体制を構築するため、市長部局の学童保育課をアフタースクール課として教育委員会の生涯学習部に移管し、全ての児童の放課後の居場所づくりを推進します。

また、教員の働き方改革を推進し、教育の質を高めるため、学校教育部の学校財務室を学校財務課として教育総務部に移管し、学校現場における財務事務の支援体制の強化を図ってまいります。

## 学ぶ意欲の育成

#### (1) 小中一貫教育の推進

児童生徒一人一人に「安心・安全な居場所」があり、全ての子供の「学習権」を保障する誰一人取り残さない教育を実現すべく、全市的な小中一貫教育の推進に向けて取り組んでいます。

令和7年度は、「小中連携教育研究協力校」として、先行して取り組む体制を構築した市内3つの中学校区において、校務分掌や教科ごとに「部会」を立ち上げ、中学校区の目指す姿の実現や課題解決に向け、計画的に取り組んでいきます。

また、各中学校区に担当の指導主事を派遣し、協力校での実践を全市的に展開できる基盤を整えていきます。

さらに、義務教育9年間だけでなく、就学前からの切れ目のない学びの実現のため、幼保こ小の連携を推し進め、授業や活動の相互参観等も引き続き実施し、各校の実態に寄り添った支援に努めます。

## (2) G I G Aスクール構想による I C T利活用の推進

令和3年度以降、学習活動の一層の充実や「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を目指すG I G Aスクールを開始し、I C Tの活用を段階的に進めてきました。

令和7年度においても、引き続き、デジタル学習基盤を活かした、児童生徒の資質・能力の育成に努めるとともに、各学校に常駐するI T教育支援アドバイザーによる学校への支援、W E Bサイトやクラウド上の教職員掲示板を活用した情報発信、教職員研修の充実を図り、デジタル学習基盤の活用推進に取り組んでいきます。あわせて、G I G Aスクール端末の更新に向けた準備を滞りなく進めていきます。

## (3) 水泳指導等業務委託

これまで、児童がより意欲的、効果的に指導を受けることができるよう、市立小学校の水泳指導における業務委託を推進してきました。

令和3年度より段階的に実施校数を増やしており、令和7年度には対象校を40校まで拡大し、令和8年度には水泳授業を自校で行う学校への指導員派遣を含め、市内全小学校の委託完了を目指して取り組んでいきます。

# 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境づくり

## (1) S N S相談業務委託

令和6年度よりS N S報告・相談プラットフォーム『S T A N D B Y (スタンバイ)』の相談業務を、サービスの即応性や相談機能の向上を目指し、民間事業者に委託しています。対象学年を小学5年生から高校3年生まで拡大したことや、心理の専門的知見からの助言が可能となったことから、昨年度は概ね1,000件、20,000回を超えるチャットの返信を行っています。

今後も、児童生徒が誰にも相談できない状況とならないよう、引き続き相談窓口の一つとなるよう推進していきます。

## (2) 教育支援センターの充実及びスクールソーシャルワーカー<sup>(注1)</sup>の配置

不登校児童生徒数は年々増加しており、近年では特に小学生の増加が顕著となっています。これまでも、教育支援センターでの対応をはじめとした不登校児童生徒への支援に取り組んできましたが、引き続き、不登校となる背景を理解した上での個別適切な支援を講じていきます。

また、貧困、児童虐待、ヤングケアラーといった困難を抱える児童生徒に対しては、学校だけで支援を完結することは困難であり、児童生徒本人だけでなく、保護者をはじめとした家庭環境に対しての働きかけや、関係機関との連携・協働が必要不可欠です。

そのため、今後も学校現場へのスクールソーシャルワーカー配置を充実させ、より早い段階でのケース対応により、問題が大きくなる前の早期支援に努めます。

## (3) 特別支援教育の推進

特別支援学級在籍児童生徒数は大幅に増加する一方で、特別な支援を要する児童生徒の「自立」と「社会参加」への支援が急務となっています。学校においては、特別支援学級での学習及び生活の支援とともに、通常の学級における「交流及び共同学習」の充実が求められ、教育支援員によるきめ細やかな支援が必要不可欠です。

また、通常の学級にも車いすを使用している等、教育支援員による個別の対応が必要な児童生徒が在籍していることから、教育支援員の配置を継続して推進し、児童生徒の校内での活動を支援していきます。

## (4) 教室不足対応事業

学区内の児童生徒数の増加により、将来的に既存の校舎だけでは受け入れが困難となることを見込まれる小中学校において、増築校舎の整備等を行い、良好な教育環境の確保に取り組めます。

令和7年度は、増築に向けて継続中の田中中学校の工事及び柏の葉小学校の設計に加え、高柳小学校の工事に着手します。

また、児童が急増する柏第七小学校と田中北小学校でリースによる校舎設置を行うほか、柏第七小学校においては、プールの解体工事や特別教室を普通教室に転用する工事等をあわせて行い、各校において必要な教育環境の確保に向けた取組を進めます。

## (5) 空調設備整備事業

授業や部活動中の熱中症対策及び避難所としての機能強化の観点から、市立小中学校の体育館へ空調設備の設置を進めています。

---

(注1) スクールソーシャルワーカー：教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた環境に様々な方法で働き掛けて支援を行う市費配置の会計年度任用職員



令和6年度には、市立中学校20校への設置工事が完了しました。引き続き、中学校1校及び小学校41校への設置工事を実施し、全ての市立小中学校で空調設備が供用開始される予定です。

#### (6) 校舎等老朽化対策事業

学校施設の老朽化対策として、学校施設個別施設計画に基づき施設整備を順次進めています。

令和7年度は、校舎の長寿命化改良事業として、光ヶ丘小学校での設計、高田小学校での工事に新たに着手します。このほかにも、西原小学校及び柏第四中学校では継続中の工事を進め、両校とも二学期から新しい校舎での学校生活が始められる予定です。

さらに、屋内運動場の長寿命化改良事業として、設計及び工事それぞれ2校ずつ実施するほか、校舎の大規模改修事業として、逆井小学校での設計、柏第四小学校ほか3校での工事を実施します。

また、風早南部小学校の空調設備更新工事の設計、柏中学校のトイレ改修工事を実施します。

#### (7) 学校給食施設の改修及び更新

安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、老朽化した学校給食センターの移転整備を進めるとともに、自校方式調理場の改修や再整備を計画的に進めていきます。特に、柏第七小学校の児童数の急増への対応として、給食室の調理能力不足が一時的なものであることから、高田小学校の給食調理場に他校への給食運搬機能を整備することで対処します。

また、学校給食調理員の熱中症対策として進めてきた学校給食施設への空調設備の設置については、小学校への設置工事が完了したため、本年4月から運用を開始します。中学校については、令和7年度に設置工事を行い、令和8年4月からの運用を予定しています。

## 教職員の力量・学校の組織力を高める

#### (1) 教職員研修の充実

令和6年度に改訂した「柏市教職員人材育成指針・指標」に基づき、体系的・計画的に学びを進められる研修体系を構築し、教職員の経験年数や職層に応じた能力の育成を目指します。

令和6年度より、各年次研修では、教職員がそれぞれのキャリアステージに応じてテーマを設定し、自校の教育課題をチームで協働的に解決する「アクションプラン実践研修」を開始しました。受講者が校外での研修と自校での研修を往還し、協働的に学びを進めることで、職層に応じたマネジメント力を育成し専門性

を高めていくことができるよう推進していきます。

## (2) 学校給食費の公会計化

令和6年度は管理システムの構築や保護者への周知、関係取引先などとの調整を進めてきましたが、令和7年4月から徴収管理業務を市教育委員会に移行し、教職員の業務負担軽減、給食会計の透明性及び保護者の利便性の向上に努めます。併せて、請求書処理にデジタル化サービスを導入し、業務の効率化を図ります。

## (3) 部活動地域移行

全国に先駆け、令和5年9月より市内全中学校で実施してきた休日の部活動の地域移行は、令和6年度には陸上競技部と吹奏楽部の地域クラブもスタートし、土日に活動を行っていた全ての部活動の移行が完了しました。

「子どもたちの持続的な活動環境の確保」「教員の時間外勤務の削減」「児童生徒・保護者・教職員の活動に対する満足度」の観点から、一定の成果を把握した一方で、事業開始により明らかになった課題を整理し、地域に根付いたより良い活動環境が提供されるよう継続して取り組んでいきます。

特に、参加費用の支援については、国や県に協力を要望し、経済的理由により活動に参加できないといったことが起こらないよう対応していきます。

## 地域・家庭とともにある学校づくり

### 放課後子ども教室推進事業の推進

放課後子ども教室推進事業では、現在の補充学習支援を目的としたステップアップ学習会や体験学習型、及び昨年10月より高柳小学校でモデル事業として開始した居場所型を引き続き実施していくとともに、こどもルームとの一体的運営を目指し、「全ての児童の放課後の居場所」の提供を推進します。

## 文化の薫るまちづくり

### 柏市文化財保存活用地域計画の推進

柏の先人たちが築いてきた貴重な文化財を次の世代につないでいけるよう、柏市文化財保存活用地域計画に基づき保存・活用の事業を展開していきます。

文化財の保存としましては、旧吉田家住宅の茅葺屋根の葺き替え工事を行います。工事の際は、工事見学会を開催するなど、市民が文化財に触れることのできる機会を設けます。

また、文化財の活用に関しては、推進体制として多様な主体で構成される計画推進協議会を昨年度立ち上げたところであり、関係団体・市民との協働による既存連携事業の強化、新規文化財活用事業の検討を行います。

## 2 令和7年度施策体系別重点事業

### 施策体系

#### I 未来につなぐ柏の教育

施策展開の方向	取組の方向
1 学ぶ意欲を育成する	1 分かる授業の推進
	2 英語教育の推進
	3 ICTの利活用の推進
	4 学校図書館の活用
	5 運動能力・運動習慣の維持及び向上
	6 健康教育の充実
	7 市立高校教育の推進
2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる	1 情報モラル教育の推進
	2 道徳教育の充実
	3 いじめ防止対策の推進
	4 不登校等児童生徒への支援の充実
	5 特別支援教育の推進
	6 幼保こ小連携の推進
	7 保護者の経済的負担の軽減
	8 外国籍の子ども等に対する支援
	9 学校規模の適正化
	10 学校施設・設備の維持管理
3 教職員の力量・学校の組織力を高める	1 教職員の育成
	2 働き方改革の推進
4 地域・家庭とともにある学校をつくる	1 学校・地域・家庭の連携

#### II 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

目指す方向性	取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが健やかに成長するように</li> <li>・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように</li> <li>・すべての人が学べる環境に包まれるように</li> </ul>	「はじめるきっかけ」を支援
	「もっと知りたい、つながりたい」を支援
	「ひろく伝えたい」を支援
	情報提供による学びの支援

### Ⅲ 文化の薫るまちづくり

施策展開の方向	施策
1 身近に感じる芸術文化と活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり</li> <li>・芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏らしさを活かしたまちづくりの推進</li> <li>・芸術文化振興のための環境づくり</li> </ul>
2 歴史資料・文化財の保存と活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の調査及び保存と活用の推進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市史編さん事業の推進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料・文化財に接することができる場と機会の提供</li> </ul>

### Ⅳ 図書館サービスの充実

施策展開の方向	施策
学び，共有，創造を支援，「ひと」と地域を育む	生涯を通じて学び，生きる力を獲得することを支える
	資料・知識・経験等の共有と学び合いの場を提供し，ゆるやかなつながりを育む
	新しい価値を生み出す創造的な活動を支援，ひとづくり・地域づくりを育む

## ページの構成

I 未来につなぐ柏の教育		
施策展開の方向1 学ぶ意欲を育成する		
【令和7年度重点事業】 取組の方向1-1 分かる授業の推進		
事業名	内容	
柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり(KMGs) <sup>(注2)</sup> の実施による授業力の向上	中学校区単位で校務分掌や教科設け、年間を通じて部会ごとに合うことで、中学校区の目指す授業力の向上を図ります。	
全国学力・学習状況調査及び柏市学力学習状況調査分析による指導力向上	全国学力・学習状況調査 <sup>(注3)</sup> 及び学力学習状況調査 <sup>(注4)</sup> の結果から、児童生徒のつまづき方を分析し、教員の指導力向上に向けて、授業改善を行います。【教育研究所】	…
「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善の実施	1人1台端末や3面ボードを活用した授業 <sup>(注5)</sup> の実践を通して個別最適な学びや協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。【指導課】	—

### 「施策展開の方向」及び「施策」

教育委員会の中長期的な施策について、基本的枠組みと内容を示します。

施策体系の「I未来につなぐ柏の教育」及び「II笑顔と元気が輪となり広がるまち柏」の施策展開の方向と施策は、それぞれ『第2次柏市教育振興計画』及び『第4次柏市生涯学習推進計画』に基づいています。

「III文化の薫るまちづくり」については、『第五次柏市芸術文化振興計画』を踏まえて、また、「IV図書館サービスの充実」については、『柏市図書館のあり方』を踏まえて、それぞれ、この柏市教育行政重点化方針において設定したものです。

「Vその他」については、その他各計画等に該当しない事業です。

## 2 凡例

- (1) 内容欄の「○名分」：○名分を配置するのに必要な予算を確保しているという意味です。実際の配置においては、1名分の予算を分割し、週2日勤務を1名・週3日勤務を1名といった配置になることがあります。
- (2) 内容欄の「○名」：実際に、○名を配置します。
- (3) 予算額欄の「—」：予算額が0円のものであります。
- (4) 予算額欄の「…」：予算額を公表していないものです。

## I 未来につなぐ柏の教育

### 施策体系外の重要な取組

#### 【令和7年度重点事業】

事業名	内容	予算額 (千円)
柏中学校区義務教育学校の設置	様々な教育効果の向上を目的として、現在の柏中学校敷地内に柏第一小学校、旭東小学校を移転し、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を実践する義務教育学校の設置に取り組みます。 令和7年度も、引き続き、出前講座型の説明会の開催や地域協議会での協議等を通じて、学校関係者との意見交換を丁寧を実施し、それらの意見も参考とし、施設の実施設計に取り組みます。【教育政策課、教育施設課】	417,812
給付型奨学金事業（新規）	児童養護施設等を退所した者（ケアリーバー）を対象に、市独自の給付型奨学金を支給します。【学校教育課】	1,620

## 施策展開の方向 1 学ぶ意欲を育成する

### 【令和7年度重点事業】

#### 取組の方向 1-1 分かる授業の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市未来につながる魅力ある学校づくり (KMGs) <sup>(注2)</sup> の実施による授業力の向上	中学校区単位で校務分掌や教科ごとに「部会」を設け、年間を通じて部会ごとに児童生徒の姿を見合うことで、中学校区の目指す姿の実現に向けて、授業力の向上を図ります。【指導課】	—
全国学力・学習状況調査及び柏市学力学習状況調査分析による指導力向上	全国学力・学習状況調査 <sup>(注3)</sup> 及び柏市学力・学習状況調査 <sup>(注4)</sup> の結果から、児童生徒のつまずき方を分析し、教員の指導力向上に向けて、授業改善を行います。【教育研究所】	…
「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善の実施	1人1台端末や3面ボードを活用した授業 <sup>(注5)</sup> の実践を通して個別最適な学びや協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。【指導課】	—
算数支援教員 <sup>(注6)</sup> の配置	教育課題支援事業 <sup>(注7)</sup> の一環として、小学校（14校）へ算数支援教員を配置し、算数科における授業づくりの重点的な支援を行います。支援教員と担任とが協働して児童への指導・支援を行い、算数科におけるつまずきの早期解消を通して、児童の学ぶ意欲の向上を目指します。【教育研究所】	62,149

<sup>(注2)</sup> 柏市未来につながる魅力ある学校づくり (KMGs) : 「授業を見合う」校内研究から「学校生活の様々な場面で連携する」小中一貫教育の推進を行うもの

<sup>(注3)</sup> 全国学力・学習状況調査 : 文部科学省が全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析等をするために実施する調査。毎年4月に小学6年生及び中学3年生を対象に実施。

<sup>(注4)</sup> 柏市学力・学習状況調査 : 本市独自で実施している調査。令和4年度から実施時期を11月に、令和6年度から対象を小学1年生から小学6年生までに変更し、実施（令和3年度までは毎年4月に小学2年生から中学3年生までを対象に実施、令和4・5年度は小学1年生から中学2年生までを対象に実施）。

<sup>(注5)</sup> 3面ボードを活用した授業 : 教室の壁3面に黒板（ホワイトボード）を設置し、記述スペースを増やすことで、学び合い活動の際の、思考の視覚化を効果的に行う授業

<sup>(注6)</sup> 算数支援教員 : 算数科における授業支援を行うため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

<sup>(注7)</sup> 教育課題支援事業 : 令和4年度まで実施していた算数科授業力向上事業を発展させた事業。学校及び教職員の課題解決を目的とし、学校の目指す児童像・付けたい力に合わせた学校支援や、教職員個人の希望研修及び研究への支援を行う。

理科教育支援員（注8）の効果的な活用	児童生徒の理科への興味・関心を高め、科学実験・観察等の充実を図り、実験技能や思考力の向上を目指します。指導主事及び教育専門アドバイザーによる各校への指導助言を行うとともに、理科教育支援員を活用した安全な実験の実施を促していきます。【指導課】	145,264
--------------------	--	---------

#### 取組の方向 1 - 2 英語教育の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
小学校外国語授業支援員（注9）の効果的な活用	授業者が小学校外国語授業支援員を有効に活用する方法、授業支援員から授業者・児童への有効な支援方法の両面を高める研修を実施します。【指導課】	87,139
英語の活用機会の充実	国際交流会やイングリッシュキャンプの開催など、児童生徒による英語の活用機会の充実を図ります。【指導課】	107,757
市立小中学校の系統的な英語教育の推進	外国語主任研修会において、小中合同研修を実施し、拠点中学校を中心に小中連携の取組を企画・推進します。【指導課】	—

#### 取組の方向 1 - 3 ICTの利活用の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
G I G Aスクール構想に基づくICTの効果的な活用の推進	G I G Aスクール構想に基づき整備した1人1台端末を中心に、ICTを活用した授業実践を段階的に行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。【指導課】	—
1人1台端末を活用した授業改善検討委員会（注10）による検証事業	1人1台端末を活用した授業改善検討委員会を設置し、情報活用能力の育成を基盤とした教科の中での効果的な活用の検証を進めていきます。【指導課】	167
IT教育支援アドバイザー（ICT支援員）の配置	教材作成や授業準備等の支援を行うIT教育支援アドバイザー（ICT支援員）の配置を拡充し、各学校に週1回（小学校大規模校は週2回）程度派遣できるように進めていきます。【指導課】	90,529

（注8） 理科教育支援員：理科授業における指導補助や実験や教材等の準備などを行うため、市費により各学校に配置する会計年度任用職員

（注9） 小学校外国語授業支援員：小学校の教職員に対し、外国語活動及び外国語科の授業や、外国語教育の推進について指導・支援を行うため市費により配置する会計年度任用職員

（注10） 1人1台端末を活用した授業改善検討委員会：柏市立学校に所属する校長、教頭、教員で構成する組織。教科の中で1人1台端末をどのように活用するかの先行事例の検証を行う。



ICT活用に係る教職員研修の充実	<p>ICTの活用率の向上に向けて、次のとおり、教職員研修を充実させます。</p> <p>(1) ICT活用研修により、1人1台端末の活用方法を紹介、周知するとともに、学習指導の工夫・改善を図り、授業での活用率の向上を目指します。また、児童生徒の情報活用能力（情報モラル<sup>(注11)</sup>を含む）を育む教育等をテーマとした研修講座を開催します。</p> <p>(2) 年次研修や特別研修において、「ICTを活用した授業づくり」等、実務に生きる研修を実施します。【指導課，教育研究所】</p>	180
柏市情報リテラシー育成カリキュラムの実施	<p>GIGAスクール構想による1人1台端末の整備に伴い、適切に情報や端末を活用することができる基礎的な知識や技能を児童生徒に身に付けさせるための支援を行います。市立小中学校9年間を通じた情報リテラシー育成カリキュラムを活用し、児童生徒の発達段階に応じて指導することで情報リテラシーの育成を図ります。【指導課】</p>	—

#### 取組の方向1-4 学校図書館の活用

事業名	内容	予算額 (千円)
各教科における学校図書館を活用した授業の推進	<p>学校図書館運営マニュアルの内容を見直し、活用促進を図ります。また司書教諭及び学校図書館指導員<sup>(注12)</sup>に対する研修において、具体的な教科指導の場面での活用方法等の好事例を取り上げます。教育委員会、学校図書館コーディネーター<sup>(注13)</sup>、学校図書館指導員の役割を明確にし、児童生徒の学習支援や教員への指導・支援を推進し、さらなる学校図書館の活用を図ります。【指導課】</p>	14,428
読書活動の推進	<p>学年や興味関心に応じた図書の紹介等を通じて、児童生徒の読書活動を推進します。特に図書館割り当て時間での読書指導の促進を図ります。また市立図書館と連携し、子ども司書養成講座、帯コレ作品の展示を通して、本に触れる機会の充実を図ります。【指導課】</p>	101

(注11) **情報モラル**：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。具体的には、他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任を持つことや、犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解することなど。

(注12) **学校図書館指導員**：市立小中学校において、学校図書館を活用した授業の支援や、学校図書館の環境整備、児童生徒に対する読書推進などを行うため、市費により各学校に配置する会計年度任用職員

(注13) **学校図書館コーディネーター**：学校図書館指導員に対して、学校図書館を活用した授業等の指導、支援を行うため、市費により配置する会計年度任用職員

学校図書館指導員の効果的な活用	児童生徒が主体的に探究的な学習ができるよう，教科指導と学校図書館を結び付け，授業づくり支援及び環境整備に携わります。また，読書活動の「読み聞かせ」「ブックトーク」「読書会」「ビブリオバトル」などで児童生徒が，言葉を学び，感性を磨き，表現力を高められるよう学校図書館指導員と教員の連携について研修を実施します。【指導課】	107,509
-----------------	---	---------

取組の方向 1 - 5 運動能力・運動習慣の維持及び向上

事業名	内 容	予算額 (千円)
小学校体育サポート教室事業 <sup>(注14)</sup> の実施	民間スポーツクラブ講師が専門的立場から授業に参加しサポートすることで，児童の苦手な運動の克服や教員の指導力向上を図る事業を実施します。【指導課】	…
運動機会の充実	小中学校の連携を見通した系統的な指導により，生涯に渡って運動に親しむ資質能力や体力の維持向上を目指し，授業改善に関する研修を実施します。【指導課】	—
民間施設を活用した水泳指導の実施	市内40校が民間スポーツクラブ施設を利用し，インストラクターによる水泳授業を実施します。【指導課】	157,283

取組の方向 1 - 6 健康教育の充実

事業名	内 容	予算額 (千円)
食育の推進	「柏市学校における食育方針」に基づいて，「生きる力と豊かな人間性を育む」食育を推進していきます。食育の推進に当たっては，教育活動全体で継続的・組織的に取り組むことができるよう，カリキュラムや事例等を整理するとともに，食育実施状況調査等を用いて評価しながら，取組の改善を図ります。【学校給食課】	—

(注14) 小学校体育サポート教室事業：児童が主体的に活動し，成功体験を味わうことや，教師が運動の特性に応じた補助の仕方や運動する場の設定などを学ぶことを目的とし，民間スポーツクラブ講師を派遣する事業

ジュニア救命士の育成	消防局と連携し、小学校5・6年生を対象に短期救命講習を実施し、命の大切さを考え、救命法、応急手当の重要性・必要性を身に付ける機会とします。【学校教育課】	—
いのちの教育の推進	健康に関する現代的な課題として性と生殖の健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の視点を持ち、性に関する正しい理解、生命の尊さを感じる、自他ともに尊重される関係性の獲得等を図れるよう、関係担当課や実施団体等と連携し、関係事業の実施を推進します。【学校教育課】	—

### 取組の方向 1 - 7 市立高校教育の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
柏市立柏高等学校第三次教育計画に基づく取組の実施	令和7年度は柏市立柏高等学校第3次教育計画実施の4年目となります。目指す学校像「柏で育てる 柏を支える 市立柏高校」を実現させるため、引き続き全学年で、タブレット等を活用した授業を展開します。併せて、キャリア教育を充実させるなど、生徒の資質・能力の育成に努めます。【教職員課，市立柏高校】	—
国際交流活動の充実	本市と姉妹都市提携しているアメリカ・トーランス市から招いた2名の外国語指導助手（ALT） <sup>（注15）</sup> とのチーム・ティーチングによる小人数・習熟度別の語学指導を実施します。2年次には、国際教養クラスを対象にアメリカ・トーランス北高校との間で短期語学研修（ホームステイ）による相互交流を行います。また、希望者を対象に中国・承德第一中学校又はオーストラリア・シェントンカレッジとの間で短期語学研修（ホームステイ）による相互交流を行います。【市立柏高校】	—
外国籍生徒の日本語指導	外国人特別入学者選抜で入学した外国籍生徒について、複数科目でチーム・ティーチングのT2として授業理解支援及び日本語教育を行う講師を3名採用し、日本語理解の支援と放課後の補習等を行います。【市立柏高校】	2,103

（注15） 外国語指導助手（ALT）：主に外国語教育の充実を図るため、担任や外国語担当教員等の助手として、市費により配置する外国人指導者（会計年度任用職員又は派遣労働者）。ALTは Assistant Language Teacher の略

<p>教育用コンピュータ・ネットワークの整備充実</p>	<p>教育活動に利用する普通教室等におけるICT機器の整備とネットワーク環境を、GIGAスクール構想に準じ、構築します。</p> <p>市立柏高校では、1人1台のタブレット端末を使用した授業や2つのPC教室での1人1台のパソコンを使用した「IT活用」「社会と情報」「スポーツ概論」や各普通教室及び特別教室でのプロジェクターを使用した授業等、ICTを利活用した授業を積極的に推進します。【市立柏高校】</p>	<p>78,049</p>
<p>スクールバスの維持管理</p>	<p>主に部活動の遠征で利用できるよう、スクールバス5台（中型2台・マイクロ3台）を所有しており、安全で快適な運行ができるよう、適切な車両の維持管理と計画的な車両の更新を進めます。【市立柏高校】</p>	<p>16,551</p>
<p>学校備品の購入</p>	<p>吹奏楽部の楽器を始めとする部活動用の各種備品や、図書館の書籍、教科教材用の備品を計画的に購入します。【市立柏高校】</p>	<p>5,392</p>

**施策展開の方向2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる**

**【令和7年度重点事業】**

**取組の方向2-1 情報モラル教育の推進**

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市情報モラル育成プログラムの実施	市立小中学校9年間を通じた柏市情報モラル育成プログラムを活用し、「情報社会の倫理」、「法の理解と順守」、「安全への知恵」、「情報セキュリティ」、「公共的なネットワーク社会の構築」など、児童生徒の発達段階に応じて繰り返し指導することで、情報モラルの育成を図ります。【指導課】	5,492
情報モラル講演の実施	実際の危険事例等を基にした講演を実施し、児童生徒には、インターネットの正しい使い方に関する理解を促していきます。 また、保護者向けの講演においては、特に家庭でのスマートフォンの使用ルールの設定等を促していきます。【少年補導センター】	—

**取組の方向2-2 道徳教育の充実**

事業名	内容	予算額 (千円)
「特別の教科 道徳」を核とした道徳教育の実施	質の高い道徳の授業を実施するための教職員研修の充実を図ります。【指導課】	30

**取組の方向2-3 いじめ防止対策の推進**

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市いじめ防止基本方針及びいじめ問題対応の手引に基づくいじめ防止対策の推進	柏市いじめ防止基本方針及びいじめ問題対応の手引を基に、各学校において、いじめの未然防止、早期発見、早期対応が適切になされるよう、いじめ防止対策を推進していきます。【児童生徒課】	3,992

<p>S T A N D B Y の提供及びいじめ防止プログラムの実施</p>	<p>ネットいじめの早期発見と抑止力を生みだすための教育を推進します。千葉大学・敬愛大学・S T A N D B Y と連携して開発した映像教材である「脱いじめ傍観者教育」をテーマとした授業を市立中学校で実施するとともに、いじめを匿名で報告・相談できるアプリ「S T A N D B Y (スタンドバイ)」を市立の全中学生及び全小学校6年生に対して導入しています。令和4年度からは、新たに市立柏高校へ導入しました。さらに、令和6年度より相談業務委託を導入したことにより、対象学年を小学校5年生まで拡大し、心理士等の有資格者から専門的な知見での回答が可能となりました。今後も児童生徒の相談窓口の拡充と充実を進めていきます。【児童生徒課】</p>	<p>15,459</p>
<p>いじめ防止授業の実施</p>	<p>いじめの未然防止のため、具体的ないじめの事例から、いじめの法的根拠や適切なS O S の出し方等について、児童生徒の理解を深めるための授業を実施します。【児童生徒課】</p>	<p>—</p>
<p>学級がうまく機能しない状況調査の実施</p>	<p>学級がうまく機能しない状況を早期に発見するために、うまく機能しない状況の改善に向けた取組を、学校と連携して進めます。本調査を6月と10月の年2回実施します。【児童生徒課】</p>	<p>—</p>
<p>学級経営アドバイザー<sup>(注16)</sup>等の配置</p>	<p>経験の浅い講師や学級がうまく機能していない学級担任に対し、学級経営や生徒指導、児童生徒への理解、保護者対応等に関する指導・助言を行うため、管理職経験者を学級経営アドバイザーとして配置します。【児童生徒課】</p>	<p>22,641</p>
<p>人権教育研修等の実施</p>	<p>人権尊重教育担当者研修として、児童生徒の人権や様々な多様性に配慮していくために、学校現場で課題となっているテーマについての研修を行います。こどもの権利条約やこども基本法に則り、学校におけるこどもの権利擁護について、理解の浸透を図ります。【児童生徒課】</p>	<p>—</p>
<p>いじめ防止サミット<sup>(注17)</sup>の実施</p>	<p>いじめ防止啓発月間の取組として、市立中学生による「いじめ防止サミットK A S H I W A」を実施します。各中学校代表生徒が、いじめについて主体的に深く考え、議論する機会とします。さらに、サミットで学んだことを各学校で周知し、いじめ防止に向けた取組を実践します。【児童生徒課】</p>	<p>77</p>

(注16) 学級経営アドバイザー：経験の浅い教職員へのサポートや保護者対応、学級が機能しなくなった状態（いわゆる学級崩壊）への対応及びいじめ問題解決に向けての訪問相談等を行うため、市費により配置する会計年度任用職員（校長経験者）

(注17) いじめ防止サミット：「柏市児童虐待及びいじめ防止条例」において、毎年12月を「いじめ防止啓発月間」と定め、この一環として行う取組。各中学校から代表生徒を集め、いじめを防止するための学校での取組等を話し合う場。

スクールロイヤーの配置	法の専門家である弁護士が、いじめ等様々なケースに対する適切な対応について、学校や教育委員会に対し、法的側面から相談や助言を行い、いじめ重大事態等の未然防止につなげていきます。また法の理解を深める教職員等への研修や、児童生徒及び保護者に対し、法的視点からのいじめ防止授業や講演についても実施します。【児童生徒課】	2,593
-------------	---	-------

取組の方向 2 - 4 不登校等児童生徒への支援の充実

事業名	内容	予算額 (千円)
教育支援センターによる支援の実施	教育支援センターは、学校へ足が向かない児童生徒の学習の保障と居場所確保の場として、設置されています。市内全域から利用できる学習重視のきぼうの園と、地域に根差したセンターである北部（柏たなか）、中部（豊四季台）、南部（増尾台）、東部（大津ヶ丘）の各地区の教育支援センターが連携し、不登校児童生徒にとって家庭と学校以外の居場所として教育相談や学習支援、仲間との関わりの機会を支援します。各地区の教育支援センターにおいては、家庭訪問による相談事業を実施しています。また、学校・家庭・教育支援センター・福祉機関等をつなぐ役割を果たすスクールソーシャルワーカーとも連携し、不登校児童生徒や保護者を支援します。【児童生徒課】	57,773
オンラインによる学習支援	教育支援センターでは、インターネット環境を整備し、ICTによる学びが可能となっています。児童生徒の実態に応じて、在籍する学校の授業を受けたり、e b o a r dなどのコンテンツを利用して学習に取り組むことができます。【児童生徒課】	—
個別支援教員（生徒指導・不登校支援）の配置	校内で問題行動の見られる生徒や別室登校をしている生徒等、個別の支援を要する生徒に対応するため、市立中学校に個別支援教員（21名）を配置します。【児童生徒課】	87,599
スクールソーシャルワーカーの配置	スクールソーシャルワーカーを各中学校区へ配置して、福祉的支援を要する児童生徒への支援を行います。【児童生徒課】	110,868

社会的自立に向けた取組の実施	不登校児童生徒は、集団での人との関わりが希薄になりがちです。そこで、市内不登校児童生徒を対象とした交流活動として、あすなるキャンプ <sup>(注18)</sup> 、自然体験学習等を実施します。【児童生徒課】	240
フリースクールとの連携の推進	教育支援センター運営委員会（年2回開催）において、教育支援センター、地区の学校長とフリースクールの関係者が集まり、市の長欠に対する方針の確認や情報共有などを行い、連携を図ります。【児童生徒課】	—
不登校児童生徒の保護者への支援	教育支援室では、心理士や教員経験者等が不登校に関する相談を受け付けます。また、教育支援センターにおいても、相談を随時受け付けています。 「ひまわりの会」 <sup>(注19)</sup> を年3回実施し、不登校や登校渋りに悩む保護者が集まり、座談会や相談会、講演等を実施しています。 学校においては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、不登校児童生徒や保護者の相談、学校との連携を行います。【児童生徒課】	26,457
児童虐待の所管部署との連携	スクールソーシャルワーカーを各中学校区に配置することで、学校と様々な関係機関との連携した支援を行っていきます。【児童生徒課】	—
学習面・生活面でのきめ細かな支援（小学校低学年支援）	1学級当たりの児童数の多い学校等の小学校低学年に、低学年支援教員 <sup>(注20)</sup> を配置し、学習面・生活面でのきめ細かな支援をしていくことで、後々の学習面・生活面に良い影響を与え、いじめ・不登校の防止や学力の向上につなげます。【指導課】	130,953

(注18) **あすなるキャンプ**：市内小中学校に在籍する、長期欠席児童生徒を対象に行うキャンプ。職場体験や自然体験などを通して集団で協力することや達成感を味わえるような内容を毎年企画している。

(注19) **ひまわりの会**：教育委員会主催による、市立小中学校に在籍及び市内に在住する不登校児童生徒の保護者を対象とした集い。不登校についての情報提供、保護者同士の座談会、不登校経験者や支援を行う方による講演会などを実施

(注20) **低学年支援教員**：小学校1・2年生の授業補助、生活補助などを行うことにより、児童の実態に応じたきめ細かな指導を実施し、学ぶ意欲の定着につなげるために、市費により配置する会計年度任用職員で教員免許を有する者



取組の方向 2 - 5 特別支援教育の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
教育支援員の配置	特別支援学級を中心として、各市立小中学校の実態に応じて、適切に教育支援員を配置し、該当児童生徒の学習や生活上の支援を行います。(119名分)【児童生徒課】	387,765
個別支援教員(特別支援) <sup>(注21)</sup> の配置	小学校に個別支援教員を配置し、通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童を中心に、学習や生活上の支援を行います。(18名)【児童生徒課】	75,505
個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	特別支援学級在籍児童生徒、通級による指導を受けている児童生徒、その他作成の必要のある児童生徒について個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、より適切な支援を行います。【児童生徒課】	—
通常の学級と特別支援学級との間の連続性の確保	連続性のある「多様な学びの場」と支援の充実を目指し、特別支援学級在籍児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習等を行います。また、全ての児童生徒の実態に応じた校内支援体制の構築とともに、通常の学級と特別支援学級の間で、双方向性のある適切な転級を進めます。【児童生徒課】	—
医療的ケアの体制整備	医療的ケアが必要な児童生徒に対し、医療的ケア看護師の配置や、医療的ケアコーディネーターの巡回、訪問看護ステーションとの委託契約、柏市医師会との協定による医療的ケア指導医の巡回を行う等、安全・安心な医療的ケアの実現を目指します。【児童生徒課】	41,863

(注21) 個別支援教員(特別支援)：小学校において、通常の学級で特別な支援を要する児童に対して、学級への入り込みによる指導(支援)及び必要に応じて週1～2時間程度の個別の学習支援を行うことにより、児童の生活・学習上の困難を改善又は克服につなげるため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

取組の方向 2 - 6 幼保こ小連携の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市幼保こ小連絡協議会 <sup>(注22)</sup> による連携	幼保こ小当番校・園連絡協議会が中心になって連携の在り方を協議し、それを基に幼保こ小地区別連絡会 <sup>(注23)</sup> (市内10地区)を開催して連携を推進します。 【教育研究所】	—
スタートカリキュラム <sup>(注24)</sup> の活用の促進	幼稚園・保育園・認定こども園での学びと小学校との学びが緩やかに移行し、円滑な接続を実現するためのスタートカリキュラムについて、研修会等を開催し、理解・活用を促進します。【教育研究所】	—

取組の方向 2 - 7 保護者の経済的負担の軽減

事業名	内容	予算額 (千円)
就学援助費の支給	経済的な理由で就学が困難な家庭に対し、学用品費の支給など経済的支援を実施します。【学校教育課】	137,723
柏市の実情に応じた就学援助制度の在り方の検討	柏市の実情に合った制度の在るべき姿を、現状の分析や中核市等における事例の研究を通じて検討します。【学校教育課】	—
就学援助事業の効率化	保護者の利便性の向上と学校事務員の負担軽減を図るため、電子申請を引き続き実施するとともに、事務の効率化に取り組みます。【学校教育課】	2,167
柏市制服バンク	就学援助支給世帯を対象とした制服リユース事業を実施します。【学校教育課】	132

(注22) 柏市幼保こ小連絡協議会：幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指し、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校の相互理解と連携の充実を図るための組織。各地区(10地区)から幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の関係者が参加。協議会全体としての協議、情報収集、啓発活動のほか、地区別連絡会を開催し、各小学校区における交流活動を推進している。

(注23) 幼保こ小地区別連絡会：柏市幼保こ小連絡協議会の運営計画に基づき、市内10地区において参観や協議会を行う組織

(注24) スタートカリキュラム：接続期カリキュラムのうち、小学校1年生入学当初のカリキュラム。本市の小学校では、これまでも入学当初の指導を工夫してきているが、各小学校のこれまでの取組を踏まえつつ、生活科を中心とした指導を工夫し、さらに教育課程全体を視野に入れて取り組めるよう推進している。

取組の方向 2 - 8 外国籍の子ども等に対する支援

事業名	内容	予算額 (千円)
外国語での就学案内の送付及び就学状況の把握	就学年齢に達する前年の外国籍児童生徒に対し，入学通知書発送時に外国語での就学案内を同封し，就学を促します。また，出入国在留管理局への出入国照会等により，外国籍児童生徒の就学状況の把握を行います。【学校教育課】	—
日本語支援の実施	関係団体と連携を図り，帰国・外国人児童生徒への日本語支援を行います。【指導課】	8,052

取組の方向 2 - 9 学校規模の適正化

事業名	内容	予算額 (千円)
児童生徒数の増加による教室不足への対応	生徒数の増加に対応するため，田中中と高柳小の校舎増築工事を進めます。また，将来的に教室不足が見込まれる柏の葉小は，校舎増築に向けた設計を実施，柏七小と田中北小については，校舎賃貸借契約を行います。その他，児童生徒数が増加している学校についても，受け入れに必要となる改修工事等を行います。【教育政策課，教育施設課，学校財務課】	739,354

取組の方向 2 - 10 学校施設・設備の維持管理

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市立学校施設個別施設計画等に基づく老朽化対策の実施	校舎長寿命化改良の設計を1校（光ヶ丘小），工事を3校（西原小，柏四中，高田小），また，大規模改修工事の設計を1校（逆井小），工事を4校（柏四小，柏五中，名戸ヶ谷小，柏二小）で行います。屋内運動場については，長寿命化改良の設計を2校（増尾西小，光ヶ丘中），工事を2校（土小，大津ヶ丘中）で行います。その他，風早南部小の空調更新の設計と柏中のトイレ改修工事を実施します。【教育施設課，学校財務課】	4,847,716
小中学校体育館の空調設備の整備	近年の温暖化に伴う熱中症対策及び避難所としての機能強化として，小中学校の体育館における空調設備の整備を進めています。令和7年度ですべての小中学校に設置完了します。【教育施設課】	2,840,500

取組の方向 2 - 1 1 安全・安心でおいしい給食の提供

事業名	内 容	予算額 (千円)
学校給食施設への空調設備の設置	学校給食調理員の熱中症対策として、学校給食施設に空調設備を設置します。令和7年度は、小学校で運用を開始するとともに、中学校への設置工事を実施します。【学校給食課】	127,783
学校給食施設の改修及び更新	「柏市学校給食施設整備計画」に基づき、老朽化した学校給食センター及び自校方式給食施設の更新等を進めます。令和7年度は、柏第三小学校給食室及び高田小学校給食室の移転新築工事、学校給食センターの建て替えを進めます。【学校給食課，教育施設課】	1,141,271
食物アレルギー対策	食物アレルギーに関するヒヤリハット情報に基づく注意喚起を行うとともに、事故発生時に迅速かつ適切に対応できるよう校内研修を通じた推進体制構築の徹底を図ります。また、食物アレルギー検討委員会を定期的に開催し、アレルギー疾患に関する最新情報の共有や、「柏市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」の適切な見直しに努めます。 【学校給食課，学校教育課】	—
学校給食費の補助	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、令和6年4月に改定した給食費の引き上げ分の半額を公費負担します。【学校給食課，学校給食センター】	221,305

取組の方向 2 - 1 2 防災体制の強化

事業名	内 容	予算額 (千円)
学校における防災体制の強化	各学校における効果的な訓練等実施に向けた取組を推進するよう支援します。【児童生徒課】	—
災害対応体制整備	避難所開設に当たっての簡易マニュアル作成を順次行うほか、浸水想定区域等に位置する学校の対応マニュアル作成を支援します。【児童生徒課】	—
地域と連携した訓練等の実施	地域と連携した訓練や、災害時に学校と地域が連携するための協議・検討の場づくりを支援します。【児童生徒課】	—

### 施策展開の方向3 教職員の力量・学校の組織力を高める

#### 【令和7年度重点事業】

#### 取組の方向3-1 教職員の育成

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市教職員人材育成指針に基づく人材育成の推進	柏市人材育成指針・指標に基づき、各学校の教育課題を解決するために職層に応じて必要なマネジメント力の育成を目指して、体系的・計画的に学びを進められる研修体系を構築し、より実効性のある研修として実施します。【教育研究所】	3,022
実効性のある人材育成体制の整備	各研修の効果を定量的・定性的に測定し研修内容を精選するとともに、OJTとOff-JTの連動等、実効性のある人材育成体制となるよう整備します。【教育研究所】	—
人材育成アドバイザー（注25）の配置	年次研修における研修講師や、学校管理職に対し学校経営などに関する助言・支援を行う人材育成アドバイザーを配置します。【教育研究所】	—
学校・教員個人の課題解決支援	教育課題支援事業の一環として、学力調査結果の活用等、学校や教職員が感じている課題やニーズに応じたミニ研修講座を行います。短時間・オンライン等の参加しやすい開催方法とすることで、学校・教員個人の課題解決を支援します。【教育研究所】	—

（注25） 人材育成アドバイザー：学校管理職に対し、学校経営などに関する助言・支援を行う市費配置の一般職任期付短時間勤務職員

取組の方向 3 - 2 働き方改革の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
教育委員会・学校の連携による負担軽減策の検討	教育職員の業務量の適切な管理を行うために管理規則を改正するとともに、各校の出退勤記録を集約し、フィードバックしています。また各校の働き方改革の取組について校長会や教頭会、モラールアップ代表者会議 <sup>(注26)</sup> において好事例を共有することで、市内の業務改善を一層推進します。さらに、教育委員会主催の会議や研修のオンライン化、市教委への提出物の精選・効率化を図ります。【教職員課】	—
校務の情報化の推進及び新校務支援システムの導入	教職員の作成する成績データを一元管理することで、セキュリティの向上を図ります。また、新校務支援システムの導入により教職員の校務の効率化と、教職員の児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導のさらなる推進を図ります。【指導課】	61,726
養護教諭の負担軽減	養護教諭の負担を軽減するため、養護教諭支援員3名を配置し、学校保健業務を支援します。【学校教育課】	7,462
教職員の部活動に関する負担軽減	部活動の地域移行を推進するため、柏市部活動地域移行支援事業を実施します。また、部活動指導へのサポートに関する事業にも継続して取り組みます。【指導課】	20,840
学校給食費の公会計化	教職員の業務負担軽減及び市民サービスの向上等を図るため、令和7年4月から学校給食費の徴収・管理を市が行います。【学校給食課】	58,904

(注26) モラールアップ代表者会議：市立全小中学校からの代表者で構成する、教員の士気やメンタルヘルスの向上、働き方改革の推進について協議する会議

## 施策展開の方向4 地域・家庭とともにある学校をつくる

### 【令和7年度重点事業】

#### 取組の方向4-1 学校・地域・家庭の連携

事業名	内容	予算額 (千円)
コミュニティ・スクールの活性化	学校運営協議会で話し合った内容が、地域ごとの特色ある地域学校協働活動につながる「地域とともにある学校」を目指します。併せて、学校、地域、家庭がスムーズに連携できるよう支援していきます。【学校教育課】	1,390
地域学校協働活動推進員 <sup>(注27)</sup> の配置及び地域学校協働活動 <sup>(注28)</sup> の推進	令和5年度より、地域学校協働活動推進員の配置を進め、将来的には各協議会に1名以上の配置を目指します。また、研修等を通じて、学校運営協議会で話し合った内容が、地域ごとの特色ある活動につながることを目指します。併せて、学校、地域、家庭がスムーズに連携できるよう支援していきます。【学校教育課】	5,486
放課後子ども教室の拡充	学校・地域・家庭と連携し、放課後の子どもの安全・安心で、子どもが自分らしく過ごせる居場所を拡充します。また、多様な学びや体験活動等ができるよう取り組みます。【アフタースクール課、生涯学習課】	42,625
教育福祉会館の自律(立)的運営や公民館事業を通じた人材育成	令和3年にリニューアルした教育福祉会館において、教育分野と福祉分野との連携を図りながら、多世代交流や地域共生をキーコンテンツとして、地域課題の発掘から解決に向けたアプローチや、具体的なモデル事業の創出を行えるような市民主体の運営の実施を目指した事業展開に取り組みます。また、その実施に必要な人材の育成や体制の整備などを行っていきます。【中央公民館】	147
中高生世代の居場所づくり	令和6年12月に開所した子ども・子育て支援複合施設5階の「中高生の広場」において、中高生世代の若者が放課後や休日に気軽に利用することができ、安全・安心に自分らしく過ごせる居場所づくりを行います。【生涯学習課】	18,805
教職員の部活動に関する負担軽減(再掲)	部活動の地域移行を推進するため、柏市部活動地域移行支援事業を実施します。また、部活動指導へのサポートに関する事業にも継続して取り組みます。【指導課】	20,840

(注27) 地域学校協働活動推進員：学校運営協議会と連動し、地域ぐるみで学校を支援するためのパイプ役となる者

(注28) 地域学校協働活動：幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動の総称

## Ⅱ 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

### 目指す方向性

- ・子どもたちが健やかに成長するように
- ・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
- ・すべての人が学べる環境に包まれるように

### 【令和7年度重点事業】

「はじめるきっかけ」を支援

事業名	内 容	予算額 (千円)
学校支援ボランティア (注29)	学校支援ボランティアの充実を図ります。併せて、学校支援ボランティアが安心安全に活動できるよう、損害保険に加入しています。【学校教育課】	1,028

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

事業名	内 容	予算額 (千円)
放課後子ども教室の 拡充（再掲）	学校・地域・家庭と連携し、放課後の子どもの安全・安心で、子どもが自分らしく過ごせる居場所を拡充します。また、多様な学びや体験活動等ができるよう取り組みます。【アフタースクール課，生涯学習課】	42,625
地域情報の拠点化事業	世代交代等により，市民が保管している地域の歴史や活動を記録した資料が急速に失われていることに強い危機感を持っています。これらの地域資料を収集・整理して，次の世代に引き継ぎます。 地域の特色ある資料を各分館に集積し，地域情報コーナーを設置して排架することにより，自分たちの住む地域の再発見や，地域への関心や愛着を持ってもらうなど，分館が地域情報の拠点として機能することを目指します。【図書館】	—

(注29) 学校支援ボランティア：保護者や地域住民など，子どもの安全対策や学習支援，環境整備などに従事するボランティア



地域学校協働活動推進員の配置及び地域学校協働活動の推進 (再掲)	令和5年度より、地域学校協働活動推進員の配置を進め、将来的には各協議会に1名以上の配置を目指します。また、研修等を通じて、学校運営協議会で話し合った内容が、地域ごとの特色ある活動につながるよう学校・地域・家庭の連携を図ります。【学校教育課】	5,486
-------------------------------------	--	-------

「ひろく伝えたい」を支援

事業名	内容	予算額 (千円)
地域づくり事業	学びを通じたQOLの向上とともに生活課題や地域課題解決のための学習機会を提供することにより、その学習成果を主体的なまちづくりにつなげます。具体として、例えば地域福祉や環境整備活動などのボランティアとして活躍できるよう、人材の育成を目的とした意識啓発やスキル習得に関する講座等を実施します。 【中央公民館】	2,300
地域学校協働活動の推進	地域学校協働活動を推進するため、学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員向けの研修を行います。 【学校教育課】	51

情報提供による学びの支援

事業名	内容	予算額 (千円)
生涯学習情報提供システム	生涯学習施策に係る事業及び生涯学習関連団体の事業等をインターネットにより情報提供し、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。【生涯学習課】	—
ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	公民館・近隣センター等における受講、自宅でのPC受講など、様々なツールを利用できる学習コンテンツの提供と情報提供を行うことにより、ライフスタイルに合わせた学習機会を拡充します。【生涯学習課】	—

### Ⅲ 文化の薫るまちづくり

#### 施策展開の方向 1 身近に感じる芸術文化と活動の推進

##### 【令和7年度重点事業】

- ・誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり
- ・芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市文化祭	市民・団体の芸術文化活動の発表及び鑑賞の場を提供します。 特に学生の参加を促し、世代を超えた交流を推進します。【文化課】	6,617
アウトリーチコンサート	身近な場所で気軽に音楽を楽しんでもらうことを目的に地域の施設を利用した小規模コンサートを開催し、「音楽の街かしわ」が実感できる機会を提供します。【文化課】	1,343
文化施設の活用促進	柏市民ギャラリーをはじめとする指定管理者と連携し、市民の芸術文化活動の発表及び鑑賞の場としての機会を提供していきます。【文化課】	16,471

- ・柏らしさを活かしたまちづくりの推進
- ・芸術文化振興のための環境づくり

事業名	内容	予算額 (千円)
かしわ塾[管・打楽器(吹奏楽)音楽教室]	市立柏高等学校吹奏楽部の協力の下、小中学生対象のワークショップを開催し、世代間の交流を通して技術の向上と人材育成を図ります。【文化課】	197
中学音楽鑑賞教室	生徒たちが間近に本物のオーケストラの演奏を体感する機会を提供し、音楽活動へのかん養を促します。【文化課】	4,172
子ども向け芸術鑑賞会	子どもたちが芸術文化に親しみ体感する機会づくりとして、一番身近な小学校へ柏市ゆかりのアーティストが赴き、体験型の鑑賞会を行う機会を拡充します。【文化課】	474
柏ゆかりのアーティストによるワークショップ	柏市ゆかりの芸術家を講師として招き、アートワークショップを実施します。アートに親しむ機会の創出や、アートを通じたコミュニケーションの輪を広げることを目指します。【文化課】	94

## 施策展開の方向 2 歴史資料・文化財の保存と活用の推進

### 【令和 7 年度重点事業】

#### 文化財の調査及び保存と活用の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
柏市文化財保存活用 地域計画に基づく保 存・活用の推進	計画推進協議会において、関係団体・市民と連携・協働した活用事業を推進します。併せて、計画的な文化財の保存に努めます。 旧吉田家住宅茅葺屋根修理工事を行います。【文化課】	126,672
埋蔵文化財の発掘調査	現地踏査、試掘及び確認調査により埋蔵文化財の把握に努め、保護と開発との調整を図ります。現状保存を見込めない場合は発掘調査（本調査）を実施し、復元整理の後、報告書を刊行します。【文化課】	60,025
各種文化財の管理・ 継承	所管する文化財を維持管理するとともに、指定文化財の管理者や民俗芸能団体に対して管理や継承の支援を行います。【文化課】	30,045

#### 市史編さん事業の推進

事業名	内 容	予算額 (千円)
市史の戦後聞き取り集 の作成	柏市が大きく発展した戦後以降の市史について、聞き取り調査による冊子作成に向けて具体的な協議や手段を検討していきます。【文化課】	501

#### 歴史資料・文化財に接することができる場と機会の提供

事業名	内 容	予算額 (千円)
市史啓発事業	オンラインによる「柏学検定」を実施し、興味喚起を図るとともに次世代を担う学生を中心に市史の出前講座を実施し、市史の啓発と浸透を図っていきます。 【文化課】	100

郷土資料展示室における企画展示	郷土資料展示室における文化財や美術工芸品等の展示を通して、柏の歴史や魅力を広く市民に紹介します。 【文化課】	8,897
歴史資料の保存と活用	郷土史ポータルサイトを通して、視聴者にとって見やすく分かりやすい情報発信に努めていきます。また、広く市民に活用いただけるように、資料の収集・整理にあわせてデジタルアーカイブの拡充を進めます。また、毎年実施している古文書講読会のメニューや回数を見直し、更なる参加者の増加につなげていけるよう内容の充実化を図ります。【文化課】	7,571

## Ⅳ 図書館サービスの充実

### 施策展開の方向 学び、共有、創造を支え、「ひと」と地域を育む

#### 【令和7年度重点事業】

生涯を通じて学び、生きる力を獲得することを支える

事業名	内 容	予算額 (千円)
本の広場の運営	令和6年12月19日に開設した「本の広場」を、小学生を中心とする子どもたちが安心して利用できるようにします。【図書館】	9,985
学校連携・支援	夏休み調べもの相談カウンターやビブリオバトルの実施、授業で使用する資料の貸出など、学校との連携や支援を行う事業を展開します。【図書館】	417

資料・知識・経験等の共有と学び合いの場を提供し、ゆるやかなつながりを育む

事業名	内 容	予算額 (千円)
地域情報の拠点化事業（再掲）	世代交代等により、市民が保管している地域の歴史や活動を記録した資料が急速に失われていることに強い危機感を持っています。これらの地域資料を収集・整理して、次の世代に引き継ぎます。 地域の特色ある資料を各分館に集積し、地域情報コーナーを設置して排架することにより、自分たちの住む地域の再発見や、地域への関心や愛着を持ってもらうなど、分館が地域情報の拠点として機能することを目指します。【図書館】	—

新しい価値を生み出す創造的な活動を支え、ひとづくり・地域づくりを育む

事業名	内 容	予算額 (千円)
課題解決支援事業	地域や社会の課題等に関して、展示等を通じて情報提供を行います。【図書館】	35
おはなし会	子どもへの読み聞かせ等のイベントを地域のボランティアと協働して開催します。併せて、研修会や交流会を開催し、各ボランティア団体の育成を図ります。 【図書館】	—

## V その他

### 【令和7年度重点事業】

#### 計画の策定等

事業名	内 容	予算額 (千円)
柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針の推進	令和5, 6年度の2カ年をかけて審議・検討し策定した『柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針』を推進すべく, 「柏市が目指す子ども像」及び「柏市が目指す学校教育」の実現へ向けて, より良い教育環境の確保や教育の質の向上につながる各種事業に取り組みます。【全課】	—
次期柏市教育振興計画の策定	国の第4期教育振興基本計画に基づき, 学校教育を中心に, 家庭や地域における教育活動も含めた計画を策定します。柏市教育政策審議会に諮問し, 審議会での検討経過を踏まえた答申に基づき策定します。計画期間は, 令和8年度から令和12年度までとします。【教育政策課】	5,577
学校施設整備計画の改定	平成31年3月に策定した柏市立学校施設個別施設計画について, 第一期(令和7年度まで)の実情を踏まえた計画の見直し作業を前年度から引き続き実施します。【教育施設課】	12,672
次期柏市生涯学習推進計画の策定	国の教育振興基本計画や中央教育審議会での議論を踏まえて, 学校教育・家庭教育支援と連携しながら展開する今後の生涯学習のあり方を検討し, 柏市生涯学習推進協議会で審議の上, 令和8年度から令和12年度までを計画期間とする次期計画を策定します。【生涯学習課】	3,284
次期柏市芸術文化振興計画の策定	豊かで文化的な生活を実感でき, 自らが住むまちに愛着のもてる環境づくりや, 柏らしさあふれる文化の創出を進めるため, 柏市文化振興審議会で審議し, 計画を策定します。計画期間は令和8年度から令和12年度までとします。【文化課】	271

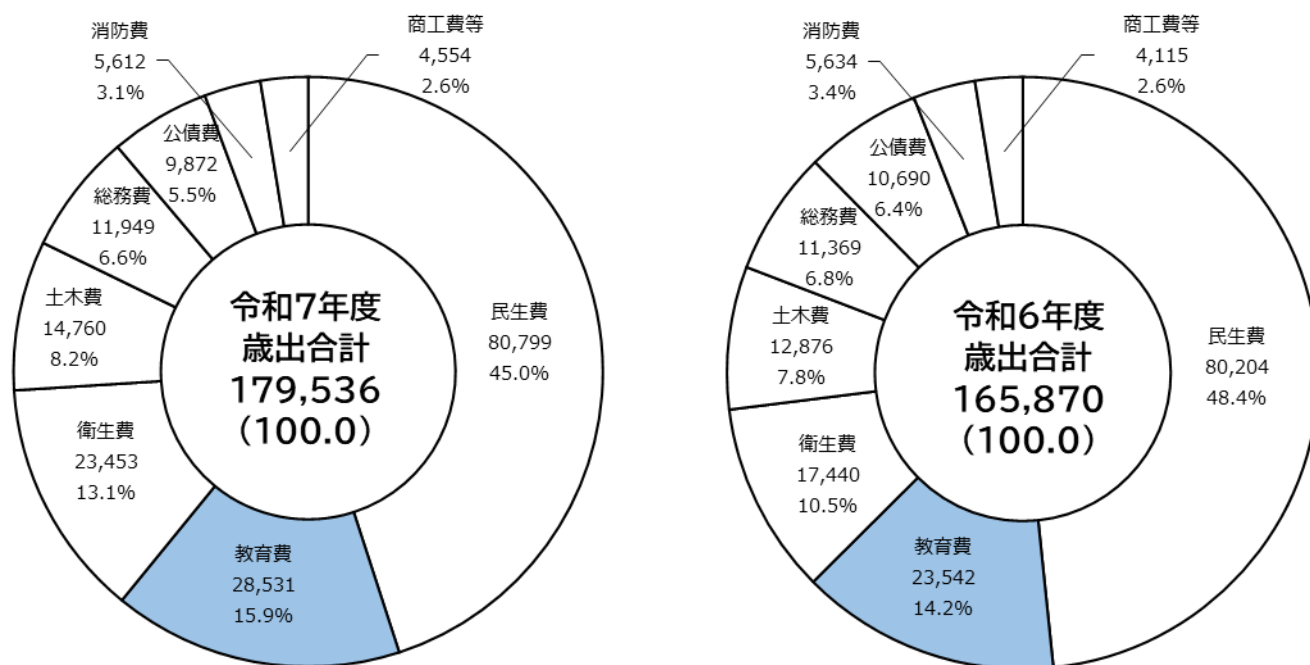
### 3 令和7年度柏市一般会計当初予算における教育費の概要

(1) 歳出予算総額に占める教育費の割合

(単位/千円, %)

区分	令和7年度	令和6年度	比較	伸び率
一般会計予算総額	179,536,000	165,870,000	13,666,000	8.2
教育費	28,531,866	23,542,469	4,989,397	21.2
教育費比率	15.9	14.2	—	—

歳出予算内訳



単位:100 万円

## (2) 教育費の目的別内訳

(単位／千円，%)

区 分	令和7年度		令和6年度		比較	伸び率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育総務費	6,744,682	23.6	3,979,150	16.9	2,765,532	69.5
小学校費	6,311,405	22.1	3,594,454	15.3	2,716,951	75.6
学校管理費	1,856,169	6.5	1,649,388	7.0	206,781	12.5
教育振興費	589,515	2.1	572,166	2.4	17,349	3.0
学校建設費	3,865,721	13.5	1,372,900	5.8	2,492,821	181.6
中学校費	2,275,798	8.0	6,829,057	29.0	△ 4,553,259	△ 66.7
学校管理費	1,263,454	4.4	1,098,013	4.7	165,441	15.1
教育振興費	347,444	1.2	336,999	1.4	10,445	3.1
学校建設費	664,900	2.3	5,394,045	22.9	△ 4,729,145	△ 87.7
高等学校費	984,861	3.5	1,303,038	5.5	△ 318,177	△ 24.4
学校管理費	898,971	3.2	850,332	3.6	48,639	5.7
教育振興費	83,684	0.3	81,130	0.3	2,554	3.1
学校建設費	2,206	0.0	371,576	1.6	△ 369,370	△ 99.4
幼稚園費	3,064,372	10.7	3,117,441	13.2	△ 53,069	△ 1.7
社会教育費	3,274,569	11.5	1,323,480	5.6	1,951,089	147.4
保健体育費	5,876,179	20.6	3,395,849	14.4	2,480,330	73.0
教育費合計	28,531,866	100.0	23,542,469	100.0	4,989,397	21.2

## (3) 児童生徒数

(単位／人，%)

区分	令和7年度	令和6年度	比較	伸び率
小学校	22,141	22,125	16	0.1
中学校	10,111	10,294	△183	△1.8
高等学校	939	944	△5	△0.5

※ 児童生徒数は、令和7年度は令和7年4月1日の見込み数値、令和6年度は令和6年5月1日の学校基本調査の数値



(4) 児童生徒 1 人当たりの教育費

(単位／円, %)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	比較	伸び率
小学校	285,055	162,461	122,594	75.5
中学校	225,081	663,402	△ 438,321	△ 66.1
高等学校	1,048,840	1,380,337	△ 331,497	△ 24.0

※ (2)教育費の目的別内訳の小, 中, 高等学校費それぞれを, (3)の児童生徒数で除した数値

(5) 児童生徒 1 人当たりの教育振興費

(単位／円, %)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	比較	伸び率
小学校	26,625	25,861	764	3.0
中学校	34,363	32,737	1,626	5.0
高等学校	89,120	85,943	3,177	3.7

※ (2)教育費の目的別内訳の小, 中, 高等学校それぞれの教育振興費を, (3)の児童生徒数で除した数値

令和7年度  
柏市教育行政重点化方針

令和7年3月発行

編集・発行／柏市教育委員会  
教育総務部教育政策課  
柏市大島田48番地1  
04-7197-2630